

健保だより 16

新電元工業健康保険組合
理事長 中村 政則

糖尿病とは？ ～増え続ける糖尿病～

今や先進国の大きな医療問題となっている生活習慣病の中で、最も問題視されているのが糖尿病です。糖尿病は大きく1型と2型に分けられます。小児や若年層にも多いインスリン依存性の強いのが1型、生活習慣と遺伝的要因によって発病するのが2型です。

遺伝的に糖尿病になりやすい人もいますが、多くは肥満、運動不足、ストレスなどをきっかけに血糖値が高くなり発病する人が増えています。

糖尿病とはどんな病気？

膵臓（すいぞう）から分泌されるインスリンというホルモンがあります。インスリンは血液中のエネルギー源である血糖（この値を血糖値という）を、体内の組織へ取り込む働きをしています。糖尿病はこのインスリンの働きに何かしらの異常が発症することです。

インスリンの分泌量が少なかったり効き目が悪かったりすると、血液中の血糖が体内へ上手く取り込めない状態になり、大事なエネルギー源が体外へ“尿”として排出されてしまうのです。この状態は血液中に大量の血糖が流れていて（高血糖）、身体の内部で徐々にダメージを与え続け、異常が蓄積されていくのです。

血糖値が高いとどうなるの？

血糖値が高い状態が続くと、血管内部が傷付けられ長い年月を掛けて徐々に悪影響を及ぼします。必要な栄養素や酸素を、体内に上手く取り込むことが出来ない状態が続くわけですから、身体の内部で少しずつ異常な部分が蓄積されて行くこととなります。

恐ろしいのは、症状を自覚することがほとんど出来ないことです。放置したままの状態から合併症と云う形で身体に異常をきたし、ようやく糖尿病だと気付く例が後を絶ちません。

糖尿病の合併症例

- 糖尿病性細小血管症・・・腎症（人口透析）、網膜症（失明）、神経障害
- 大血管障害・・・冠動脈疾患、脳血管障害、末梢神経障害（壊疽）

合併症を発症した患者の声（当健保の関係者ではありません。）

○53歳男性 現在失明

（経緯）40代になって痩せて来たので嬉しく思っていた。歯医者にかかったときに血圧が低すぎて麻酔が使えず、内科の受診を勧められ糖尿病と判明。

「糖尿病は痛くない。痛くなってからでは遅い。両足が無くなってもいいけど、目が見えないのは辛い。お酒を飲むと嘔吐するので、お酒は飾ってある。」

○59歳男性 脳梗塞を経験、現在人口透析

（経緯）若い頃から高血圧で通院。50歳を超えた頃に尿路結石になった。尿が泡立つことが気になっていたが何もせずに放置。頻繁に風邪をひくようになり、大きな病院へ行ったところ糖尿病と診断され、即刻人口透析を開始。

「あと2～3ヶ月早く来ていれば、人工透析にならずに済んだと云われ、もっと早く受診していればと後悔している。高血圧症で長年通院していたのに、何も云われなかった。」

○60歳女性 30年前から人口透析。以来、水分制限を継続。

(経緯) 20代のときから時々血尿が出ていたが、痛みが無かったのでさほど気にしなかった。それ以前から血糖値が高かったが、若いからと気にしないままだった。

「思う存分水を飲んで、思い切りおしっこがしたい。もう何十年も氷を食べていない。毎年夏が来ると、かき氷を食べる夢を見る。」

空腹時血糖 126mg/dl 以上

随時血糖 200mg/dl 以上

HbA1c 6.5%以上

の方、今すぐ医療機関を受診して下さい。放っておくと合併症の危険性が生じます。

以 上

マメ知識 ～糖尿病の医療費～

糖尿病の3大合併症とは？

糖尿病は気づかぬうちに進行・・・、糖尿病が重症化すると・・・、
⇒合併症を引き起こしやすい。

3大合併症とは、

- ・網膜症 → 失明
- ・神経障害 → 膝下切断
- ・腎不全 → 人口透析

糖尿病医療費1人あたり

人口透析直前 約50万円/年

人口透析後 約500万円/年(週3回、1回につき3~4時間の通院が必用)

※糖尿病は国内全体の医療費を押し上げる大きな要因となっている。

- ・詳細は健康保険組合までお問い合わせ下さい。(831-7200)